

第12回世界歴史都市会議開催都市への立候補について

1. 目的

世界歴史都市連盟（詳細は別紙のとおり）が2010年（平成22年）に行う「第12回世界歴史都市会議」を奈良市に誘致し、「平城遷都1300年記念事業」の一環として位置付け、歴史都市が直面している共通の問題解決に向けての情報交換・共同研究を行うと共に、古都奈良の魅力を世界に向けて発信しようとするものです。

2. 世界歴史都市連盟理事会参加

第11回本会議開催地トルコのコンヤ市で行われる理事会において、奈良市長が第12回の会議誘致に向けて正式立候補のプレゼンテーションを行います。

日時 プレゼンテーション 平成19年6月25日

理事会 平成19年6月24日～26日

場所 理事会開催会議場（デデマンホテルコンヤ）

3. 世界歴史都市会議の概要

開催頻度	概ね2年に1度、会員都市で開催
開催都市の決定	2008年本会議前の理事会で行われる。
開催期間	通常3日間 (開会式/分科会/総会/エクスカージョン/閉会式)
参加人数	200人程度

4. 今後のスケジュール

平成20年 第11回世界歴史都市会議（コンヤ市）

平成21年 理事会（第12回開催地）

平成22年 第12回世界歴史都市会議

問合せ 観光経済部 文化観光室 文化国際課
電話&FAX 0742-34-1965
E-mail: bunkakokusai@city.nara.lg.jp

世界歴史都市連盟とは

目 的

人類の将来にわたって、万人が永遠に希求し続けるべき世界平和の達成に貢献できることを願って、歴史都市という共通の絆で結ばれた都市が、将来にわたって日常的な交流を促進するための組織を結成し、世界歴史都市会議の継続開催の基盤を確固たるものとすると共に、歴史都市が直面している課題の解決に向けて、情報交換、共同研究など、歴史都市のさらなる発展のための事業を行うことを目的としています。

経 緯

昭和62年（1987年）に第1回世界歴史都市会議が京都で開催された際に、同会議の継続開催のために、第1回会議に参加した26都市を会員として世界歴史都市会議協議会が設立されました。同協議会の事務局は京都に置かれ、京都市長が協議会会長を務めてきました。

平安遷都1200年を記念して第4回会議が再び京都で開催されたのを契機に、従来の協議会を発展的に解消し、世界歴史都市会議を設立したものです。

組 織

役員都市

会長	京都（日本）
副会長	ウィーン（オーストリア）
	西安（中国）
理事	バララット（オーストラリア）
	慶州（韓国）
	キエフ（ロシア）
	モントリオール（カナダ）
	パリ（フランス）
監事	イスファハン（イラン）

会員都市 49カ国 68都市

世界歴史都市会議開催地

* 奈良市は1997年7月に世界歴史都市連盟に加入

	開催年	開催地	参加国	参加都市	テーマ	奈良市参加
第1回	1987年11月	日本・京都	25ヶ国	26都市	『21世紀における歴史都市 - 伝統と創世 - 』	
第2回	1988年6月	イタリア・フィレンツェ	27ヶ国	33都市	『明日の人間のための歴史都市』	
第3回	1991年10月	スペイン・バルセロナ、ヘレーナ	23ヶ国	40都市	『年の記憶と未来』	
第4回	1994年4月	日本・京都	40ヶ国	45都市	『歴史都市の英知を求めて』	
第5回	1996年9月	中華人民共和国・西安市	37ヶ国	51都市	『歴史都市の振興』	
第6回	1998年5月	ポーランド・クラクフ	22ヶ国	30都市	『歴史都市における遺産と開発』	
第7回	2000年7月	フランス・モンペリエ	24ヶ国	53都市	『歴史とその価値について』	
第8回	2003年10月	カナダ・モントリオール	13ヶ国	19都市	『保存と開発:どのようにして?誰と?なぜ?』	
第9回	2005年10月	大韓民国・慶州市	18ヶ国	25都市	『歴史都市の今日と明日 - 歴史都市の保存と開発 - 』	
第10回	2006年10月	オーストラリア・バララット	9ヶ国	35都市	『持続可能な歴史都市:未来に向けた経済・保存・ビジョン』	
第11回	2008年	トルコ・コンヤ				

トルココonya市の位置

